



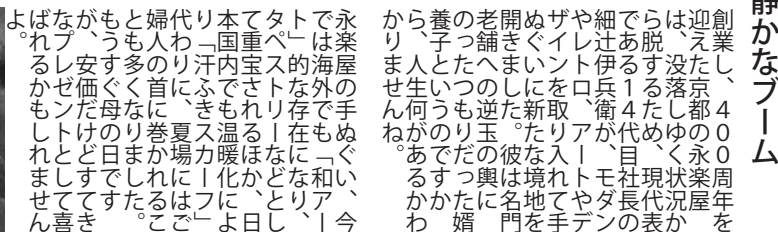
「手ぬぐい」が皆さんは「手ぬぐいと聞いたらどんな印象を持たれるでしょうか？」中高年の方には「すたれた製品」というイメージがあるかもしれない。「手ぬぐい」を知らない人もいます。少し説明しますと、細かい糸（輪奈）が飛び出して、着物の反物のハギレから作られたという手ぬぐいは、木綿の手織りで作られた布です。

その名の通り、手をふいたり汗ふきやお祭りで使うなど様々な用途で江戸時代より重宝されてきました。が、平成時代にはすっかり見かけなくなりました。

その手ぬぐいが今、静かなブームになっています。

要因は、外国人観光客からお土産として人気になっただけでなく、手ぬぐいメーカーによる様々な起死回生策にもあります。

たとえば江戸初期に



大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び
大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。

スタッフ紹介

日頃は営業活動やお電話で応対させていただいておりますスタッフの日常をお伝えいたします。

岡山工場技術部の小椋と申します。入社して間もなく1年が経とうとしていますが、まだ1つ1つの業務に対して時間がかかり、苦勞することも多い状況です。

業務内容としては、製品検査や先輩社員の業務補助等を主に任せておりまう。製品検査では、製造部に製造された製品を当社の製品規格に基づいて検査し、出荷の可否を決めております。異常等が見つかれば製品担当者迅速に報告をし、お客様の元にはより良い製品をお出しできるように日々業務をしております。

先輩社員の業務補助では、弊社営業部から受けた依頼試験やテーマ開発製品改善の補助等を行っております。先輩社員が業務をスムーズに遂行できるようにサポートをするだけでなく、先輩社員の作業や考えについて質問等を行うことで、私自身知識として会得しております。また先輩社員に作業等のご指導をいただいたことで、作業の効率を向上させております。

職場の雰囲気はとても温かく、すぐに溶け込むことができまう。先輩方と仲良くさせてもらい、ストレスもなく毎日楽しく仕事をさせてもらって



います。話は変わりますが、私は小・中・高校と野球部を、大学ではテニスをしており体を動かすことが大好きです。最近では年上の方と野球やソフトボールをする機会が増え、心身ともにリフレッシュできて楽しい時間を過ごしております。

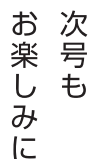
大学でテニスをしていた時に尊敬していた先輩の言葉を、現在私のテーマとしております。その言葉は「日進月歩」です。意味は文字通り「たえずなく、どんどん進歩すること」で、私はこの言葉は業務にも通ずることがあると考えております。そのため、先輩社員に質問等を行い、日々成長できるように努めております。

最後になりましたが、より良い製品ができるよう尽力していきますので、これから宜しく願い致します。



●本社
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13
TEL : 06-6909-6755(代) / FAX : 06-6909-6702

●東京支店
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-4-14 芝栄太楼ビル 5F
TEL : 03-3436-3801(代) / FAX : 03-3436-3803



URL : <http://www.dainichikasei.co.jp>

「手ぬぐい」が静かなブーム

1994年の「スピード」で女性の心をつかみ、1999年から始まった「マトリックス」シリーズでは、世界中の男性をも魅了したキアヌ・リーブスが2008年に主演したSF作品、それが「地球が静止する日」です。

が、使者であるキヌ・リープスを送り込み、米国政府要人と面談を望むものの一時的に拒否される。遂には人類を排除し滅ぼそうとする様子がスベクタクルに描かれています。

異星人がなぜ人類を滅ぼすのかという点、人類以外の動物を救うため。そのため「ノアの箱船」的な物体に動物を載せる一方、話し合いたさしよとしない人類には最後の最後で人類の優しさというストーリーになっています。

あらすじだけを見ても、地球環境に対する人間の傲慢さを描いた作

キアヌは、一見ハリウッドきつての成功者に見えませんが、実は子供を亡くし、恋人も亡くし、妹は白血病で長年闘病し（現在は治癒とのことで、彼自身も長年うつ病に悩んでいたうえ幼少時からは「失読症（しどくしょう）」という症状のため、非常に苦勞してきたことを昨年末にフエイスブック）で発表したのです。

実際に、大スターであるキアヌは今でも質素に暮らし、地下鉄や電車で普通に乗り、他人に席を譲る素晴らしい人格者ですが、その彼が幼少時より「発達障害（学習障害）」の一種である「失読症」に悩んでいたことは世界中に新たな衝撃を与えました。

「失読症」は、文字を読み取りにくいという障害で、俳優仲間のトム・クルーズや有名監督のステイブン・

品とわかりますが、51年版はヒットし世間から支持を得たものの、リメイク版では「なぜ米国政府が、かたくななのか」「その背景がほとんど描かれていないことや、登場人物の人物像なども中途半端なうえ「伝えたいこと」の的が絞れておらず、見終わった後は残念な印象だけが残りました。

スピルバーグもこの障害のため、非常に苦勞をしたと告白しています。実際に、トム・クルーズの場合には台本が読めないうえ、音声録音をしてもらってセリフを覚えてもらうそうです。

今では各種の治療法や対策ソフトなどとも出ていますので、以前ほど偏見がない失読症ですが、この症状を含めた「発達障害者は年々増加傾向にあります。増加している理由は、1つには「発達障害」という認識が広がり、これまで「変な子」「ダメな人」というレッテルしか貼られていなかった人が、昨今では障害を疑われて通院し、病院で確定的な診断が出たことによります。

他には、たとえば昨今増えている農薬や添加物、遺伝子組み換え食品の他、環境物質との因果関係や妊娠中のアルコール摂取などとの関連を疑う医療者や科学者も多くなります。

とはいえ、まだまだ未解明の部分が大きい「発達障害(学習障害)」ですが、次回以降もまた取り上げてみたいと思います。

さて、「文字が読みづらい失読症」だったキアヌ・リーブス。台本を覚えてセリフを言うのが仕事である俳優の主演作として見てみれば、佳作だという評価が高まるでしょうか？

ぜひ皆さま自身の目で確かめてください。